

アラウンド GOGO 55



夫が地下鉄のホームから 転落!! 猪狩恵美子

こんな風につぶやきを声にし、行動にしていたみなさんに出会いながらここまで来たことを思います。

「みんなのねがい」って、ほんとうにいい名前ですね。そして、その名前に恥じない年月を重ねてきましたね。教員をめざす若者に「たくさんのみんな」のねがいと確かな歩みを伝えていける「今」、大切にしたいと思います。

(福岡教育大学教授)

*猪狩さんは東京の障害児学校教員でした。現在は福岡に単身赴任です。全障研九州ブロックや福岡支部でも活躍されています。

*「アラウンド55」は50代を迎えた会員による、介護や健康、人生設計等をテーマにしたエッセイコーナーです。

アラウンドじゃないんだけど……と固辞しながら、私つてどこにいらっしゃるだろう、ちよつと考えてみたい気になられて登場してしまいました。「ゆく夏」に、800字をいただきました、「ただだっ」の日々をちよつぷり考えたここ数日です。

あまり先のことは考えず、「その日・その時」で歩いてきました。今年が夫が地下鉄のホームから転落という事故で、器用な夫を頼りにしていた私の未来設計は一時、大きく揺らぎました。あたり前の

毎日に潜む危機一髪を痛感しました。まさしく九死に一生で、おかげさまでいつも同じ季節の一コマ一コマが不思議であり、感謝です。

視覚障害の方の多くが転落事故を経験しているとうかがっていましたが、転落防止柵のない都営大江戸線、しかも都庁前駅から遅延被害の費用請求の電話が来たのも悔しく思っていたら、しばらくして大江戸線にも防止柵設置のニュースでした(ついでながら全教共済に本当に助けられ、あらためて組合の大切さが身

に染みんでいます)。

結局、性懲りもなく「その日・その時」暮らしに戻りましたが、今日は以前いつしよに国会に行った福岡のお母さんに電話がつながりました。

「後から実現したってことがよくありますねえ、自分の時、全然動かないと思ったことが。『できません』としか答えなかった人たちも本当はわかってくれたのかもしれない。自分の時にはだめでも、どこかでつながっていったのかなど思ったりします」。